



編集/発行

神戸芸術工科大学

教学課

〒651-2196 神戸市西区学園西町 8-1-1

tel:078-794-5025

<http://www.kobe-du.ac.jp/>

kdu-i@kobe-du.ac.jp

本学は開学20年を迎えます

本学は1989年（平成元年）4月に芸術工学部に環境デザイン学科、工業デザイン学科（プロダクトデザインコース、アパレルデザインコース）、視覚情報デザイン学科の構成で開学し、1993年（平成5年）には大学院芸術工学研究科（芸術工学専攻、総合デザイン専攻）を設け、その後もカリキュラムの改革、学部・学科の改組・変更を行い、2006年（平成18年）には、メディア表現学科と造形表現学科からなる、先端芸術学部が誕生しました。

また今年4月には大学院芸術工学研究科に総合アート専攻を新たに設け、現在に至っています。

大学では20年の歩みを学内外に披露するとともに、記録に留め、本学の更なる飛躍を祈念して、開学20周年記念事業を執り行います。

1. 開学20周年記念式典 11月15日（土）於：吉武記念ホール

記念式典 13:30

記念講演 14:00 杉浦康平名誉教授講演

『世界とアジアンデザイナー自然と人間の「円環」をめぐって』

卒業生「おかえりなさい」15:00（予定）体育館

その他、各学科の展示を予定しています。

2. 記念誌の発行

開学以来の、学部・学科の変遷、教育内容や・研究活動の足跡を記録に留め、この20年間の歴史を総覧できる記念誌を作成、発行します。

3. キャンパスサイン計画

新校舎が完成し、以前にも増してキャンパス内が複雑化しているため、建物配置、誘導などを分かりやすくするサイン計画を構築します。



ロゴマークは 05V 片桐麻里絵さんの作品です

学園創立80周年記念ロゴマークが決定 本学学生の作品が採用

本学の設立母体である、学校法人谷岡学園は1928年（昭和3年）に創立し、今年で80年を迎えます。その学園創立記念事業の一環としてロゴマークが募集され、学園系列の学生、生徒、教職員から96点の応募があり、一次審査、二次審査を経て、本学ビジュアルデザイン学科3年生の梶原貴子さんの作品が採用されました。なお次点には本学ビジュアルデザイン学科2年生、木下香織さんが選ばれ、その他学園系列校応募者の中から佳作3点、理事長特別賞1点がそれぞれ選ばれました。

採用作品は、80周年記念事業に伴う様々な場面で使用が予定されています。



作品コンセプト

80周年の「8」は無限大の「∞」に似ている「無限大＝空」というイメージから80の文字を空に例えています。また谷岡学園には6つの教育機関があり、その教育機関を6つのカラフルな円で虹を表現しています。つまり「谷岡学園での空には虹がある」というコンセプトで制作しました。シンプルだけど明るくて元気のある感じに表現しました。

Contents

- 本学開学20周年記念事業
- 谷岡学園80周年記念ロゴマーク決まる
- 特集:各学科の活動紹介
- 学生フォーラムNEWS
- 国際交流だより
- キャリアだより
- 卒展予告
- 社会連携事業
- まなび掲示板

特集

各学科の活動紹介

今回のKDUでは、各学科が日頃取り組んでいることや活動を紹介します。これらは一例にすぎず、詳しいことを知りたい方は大学のHPあるいは、各学科が開設しているHPをのぞいてみよう！ <http://www.kobe-du.ac.jp/link/subject.html>

メディア表現学科

ラジオ番組「眠らない大学」(ラジオ関西558 KHz)毎週木曜日の深夜25:30~26:00

この番組の最大の特色は、内容のすべてを学内で制作していること。番組の企画から録音までを、学生と教員の協同作業で行なっており、収録にはメディア表現学科にあるコントロール室・レコーディングブースを使っています。

4月からは、まんが・アニメーション専攻が番組制作を担当し、大塚英志教授を中心に多くの学生が参加。「眠らない大学～第一学期真夜中のまんが家入門～」と題して、まんがのキャラクター作りについての解説など、広く関心の高いテーマが取り上げられました。学生制作によるラジオドラマの他、番組主題歌も学生の手で作られており、その後主題歌はバージョンが増えていくなど、学生の積極的な参加によって大いに盛り上がりを見せました。

7月からは、映画専攻の担当による「眠らない大学～夏期講習・映画林間学校～」を放送。

石井聰亘教授と橋本英治教授、映画専攻の学生というキャストで、バラエティに富んだ内容を展開中。さまざまな映画を取り上げて、学生と教員がお互い知識を深めあうなど、知的な雰囲気を漂わせる一方、石井聰亘教授のパワフルで熱い声やSEが飛び交ったりと、熱い教育現場をそのまま感じさせる場面も登場します。学生が映画を紹介するコーナーや、学生が中心になって制作したドラマなど、さまざまな企画で番組を盛り上げています。

この後は、学科を飛び越えて多くの学生・教員が登場する予定です。

関西以外からも、かなり広い地域で聴取可能ですので、ぜひ一度ラジオを「558KHz」にチューニングしてみてください。



造形表現学科

クラフトアート講座を開講

造形表現学科では、一般市民の方を対象としたクラフトアート公開講座を6月のはじめから8月までの毎週土曜日に、陶芸講座、ガラス講座、ジュエリー講座の3つのコースを開講しています。

講座は96号棟の造形表現ラボ（現代クラフト工房）において行われ、工芸作家による丁寧な指導のもと、初めての方でも楽しく工芸作品を自作できることから人気が高く、各コース定員15名を上回る応募がありました。



ビジュアルデザイン学科

本学科では95名の新入生を迎え、賑やかに、日々熱気溢れています。特別講義では、祖父江慎氏（6月11日）・木村タカヒロ／キムスネイク氏（6月25日）・山口信博氏（7月2日）・小野明氏（7月9日）と、エディトリアルデザイン、グラフィックデザイン、イラストレーション、アニメーション、絵本…各界で最前線を走る講師陣を招き、学生達は生（なま）な強い刺激を受けたようです。各講師ともに質疑応答の時間をたっぷり取っていました。講義後も個人的に相談をもちかけ、学生達が取り囲むなど、親密なコミュニケーションを得る機会となりました。また、神戸新聞に記事が掲載され、学外からの熱心な受講者も目立ちました。

学外との連携プロジェクトも活発な成果を上げています。荒木優子准教授のゼミ生と大学院生が、今秋NHKで放送予定の「土曜ドラマ ジャッジII島の裁判官奮闘記」の番組宣伝ポスター・デザインを担当。学生デザインコンペにより、作品が選ばれた前田健人さんは「島の中の裁判官という設定はおもしろく、イメージが膨らんだ」「NHKという枠にはどうわれない、自分がおもしろいと思う作品を作りました」とコメントしています。制作側は選考理由として、ドラマ性があり、手描きの花や海が良かったことを挙げました。最終選考に残った梶原麻由さん、梶原貴子さんの作品も、今後フライヤーやHPのデザインとしての採用が検討されています。

また同ゼミでは、ラジオ関西のタイムテーブル表紙デザインを7月号から来年3月号まで担当し、好評で近々学生が神戸新聞の取材を受ける予定です。

さらに、ユニティ主催の学園都市5大学同時開催オープンキャンパス（8月3日）の4連B1ポスターを4年生の片桐麻里絵さんのデザイン、福寿桃子さんのイラストレーションで制作され、7月下旬に神戸市営地下鉄主要駅などに掲出されました。

今後の予定として、12月のルミナリエのポスター・デザインを担当するほか、今秋には学科の雑誌「VD」の発行も決まっており、年2回のペースで学生の作品、授業の紹介その他ヴィヴィッドな情報を、丁寧に発信していきます。



画像写真は、NHKドラマ採用案／前田健人（写真中央）、次点／梶原麻由（右）、3位／梶原貴子（左）。



特別講義（6月25日）で講師・木村タカヒロ／キムスネイク氏に質問、サインのお願いなどをする学生達



ファッションデザイン学科

今年の夏も暑い日が続きました。それには地球温暖化の影響がありますが、前期2年生のデザイン実習では地球環境を意識した視点を課題に採り入れ「私の考えるエコバッグ」をテーマに企画・制作を行いました。

ものづくりのプロセスとして単に形を考えるだけでなく、現在マーケットではどのような需要があるのかという社会性をもって発想することが必要になってきています。

そのような時代に、日常見慣れている「エコバッグ」をもう一度自分なりに解釈し、オリジナリティを持って制作しました。コンセプトは、「長く使えるもの」「天然素材を作るもの」「常に携帯できて役立つこと」など「エコ」ひとつとっても様々な考え方を形にできます。これまで、私達の



生活の場面で何気なく使っていたものを、少し違った視点で見ることができます。

また、前期のトピックスは「3・4年生前期作品展」の開催です。昨年までは4年生の卒業制作の一環でしたが、今年度初めて3年生も参加したいという希望により、合同展の開催に至りました。

3年生は前期カリキュラムの課題作品を制作し、4年生は卒業制作の前期制作分として出展。作品展の実行委員会も3・4年生合同のプロジェクトとし、企画・製作の一連で工程打合せや展示のディスプレイ計画まで全て自分達で進行しました。

なかでも驚いたことは3年生の勢力が強く、4年生もやや焦るほどの熱意を感じられたことです。学年の違う者同士がお互いを刺激しあい、貴重な経験が出来ました。今回の作品展で本学科の層の厚さを感じたことから、今後もさらにこのような活動を行っていきます。



プロダクトデザイン学科

来年度から、雑貨・インダストリアルデザイン、家具・インテリデザイン、生活・ユニバーサルデザインの3コース体制で専門教育がスタート。近年増加傾向にある産学連携の事業も各コースにおいて的確に対応していきます。ここでは、ふたつの産学連携を紹介します。

●淡路瓦産業との産学連携 3年生

学内共同研究の一環として、生活デザインコース3年生の学生10名が実習課題として兵庫県を代表する地場産業（淡路瓦産業）との産学連携に取り組みました。テーマは「瓦素材を用いた雑貨などのデザイン提案」。まず、地場産業を知ることから、産地に出向き工場を見学し、さらに淡路瓦制作体験では、各自それぞれの発想による鬼瓦を制作しました。後日、参加学生達と検討した結果、実習の課題に以下の条件のもとに各自アイデアスケッチを開始しました。1-生活雑貨であること2-ユニット構成になること、3-室内用及び屋外用のシーンで使用することです。学生から提出されたアイデアのプレゼンテーションを本学スタジオで行い、学生と産地事業者との活発な意見交換がされました。最終5人の学生アイデアに対して試作品を製作することになり、それらの試作品は、南あわじ市津井の窯元タツミギャラリー「長門屋」で展示されました。なお、展示会の内容は、地元新聞社を含め3社の淡路版に掲載され、評価を得ました。この連携事業では、2名の卒業生、鬼板師川崎忠之君、デザイナー古田恵介君が、学生達を支援してくれました。卒業生、産地事業所との交流の機会や学生達のアイデアが試作品として具現化したことなど、学内では体験できない教育効果がありました。今後、この産学連携を継続していきます。



●株式会社東海理化と産学連携 3年生

株式会社東海理化と『自動車を取り巻く通信 技術の応用』というテーマで産学共同プロジェクトを実施しています。このプロジェクトは今年で三年目となります。毎年3年生を中心にデザイン担当13名、記録担当6名の有志が集まり日々奮闘しています。参加学生にとってプロのデザイナーのアドバイスを受けながらより実践的なデザイン力が習得できる貴重な機会となっています。



環境・建築デザイン学科

学生たちによる様々な自主活動が盛んに行われています。その特徴としては、地元の神戸を中心に、実際の街に出かけて行き、地域の方々と直接ふれあいながら、「環境」や「建築」という視点を通じた活動を行っているものが多いことです。大学の地域貢献と合わせて、学生自身にとっての良い社会経験の機会となることから、できる限りの後方支援や指導を行っていきたいと考えています。

ここでは、今春から4年生が中心となって活動をおこなっている、湊川商店街（神戸市兵庫区）の空き店舗を利用したプロジェクトを紹介します。これは、商店街の活性化とリサイクル活動を結び付けた興味深い活動であり、本学科の「都市デザインから建築、インテリアデザインまでを総合的に考える」というコンセプトに基づいた活動のひとつでもあります。

街の図書館「まちとしょ」

身近にある“ペットボトル”をリサイクル利用して、「ヒト」と「モノ」との新しい関係性をつくる街の図書館「まちとしょ」をつくるプロジェクト。5月、商店街内に回収ボックスを設置。回収イベント日には、学生オリジナルデザインのポストカードと交換したりして、大学内での回収と合わせて、1万本のペットボトルの回収を目指し、順調に進んでいきました。



6月、街の人々の思いを乗せたそのペットボトルたちが、商店街の空き店舗に持ち込まれ、2週間かけて学生たちが協働して、ペットボトルを天井から吊り下げるによって、透明感のある不思議な壁の空間をつくりあげました。オープンセレモニーで、家庭で不用となった絵本などの提供を呼びかけ、その絵本などが棚に納められ、「まちとしょ」がスタートし。そこでは、買い物に来た親子が立ち寄って絵本を読んだり、学校帰りの高校生が気に入った本を家へ持ち帰ったり、近所のおじいさんが家から持って来たりしてくれる。すなわち、本の交換を通じて人と人がふれあうコミュニティセンターのような場所である。その「まちとしょ」において、7月には、“手作り絵本をつくろう”、8月には、“かわいい風車をつくろう”というワークショップも開催。現在、商店街の人気スポットとなり、今後も学生たちがサポートしていきます。

学生フォーラムNEWS

▶学校に愛を！環境に愛を！人々にモラルを！

大学では、学生と教職員が協力して、掃除イベント「クリーンキャンペーン」を行っています。

実施は毎月最終週の平日に、昼休みを利用して学内のゴミを拾う清掃活動です。毎回50名以上の方が参加し、ポイ捨てや歩きタバコの現状を見つめ直しつつ、ゴミを集めています。

やはり、学校は綺麗なほうがいいですよね！学生生活の拠点である学校を、みんなが快適に、気持ち良く過ごすためには、一人ひとりがその快適さを保つ意識を持つことが大切です。

この活動を通して、学内外問わずどんな場所でも、マナーを守る大切な気持ちを、改めて見直して貰えたらと思います。

ポイ捨て、ポイ捨てに繋がる歩きタバコは止めましょう！

■後期の予定日 9月30日(火)、10月31日(金)、11月27日(木)、1月22日(木)昼休み実施

なお、12月6日(土)は芸愛祭として大規模な活動を予定しています。



▶去る7月9日(水)、大学内にて献血を実施しました！

学生フォーラム委員会は、毎年、兵庫県赤十字血液センターの献血カーを学内に呼び、学生・教職員に献血の協力を呼びかけています。5回目の今年は、過去最多・総勢70名の方が献血に参加され、内46名の方から採血することができました。

採取された血液は、次の日にはもう血液を必要としている人のもとへ届けられ、実際に手術や輸血に使われています。一度の献血に要する時間は約30分。あなたの30分が、誰かの一生を助けるのです。この日、献血カードを作った方は、来年も、また本学以外の場所での献血にも参加して頂ければと思います。そしてまだ献血をしたことがない方も、協力して貰いたいなと思います。

たくさんのご協力ありがとうございました！また来年もよろしくお願ひします！



◆ 学生フォーラム会長からひとこと ◆

今回は、後期より実施予定の活動から、一つお話しさせて頂きます。

以前より、「クラブ・サークル」について、一般学生をはじめ、すでにクラブやサークルに所属している人からも、十分に理解している人は少なく、そのため質問が多く寄せられていました。

そこで学生フォーラム委員会は、後期から「クラブ・サークルについて」の“説明会”を、毎月行うことになりました。この説明会は、主に「これから新しいサークルをつくりたい。」という学生を対象としていますが、説明会実施にあたり、現在あるクラブ・サークルの人にも参加してもらいます。

この説明会を実施することで、少しでも多くの学生に、「クラブ・サークル」について知ってもらえたと思います。

その他にも、後期には四季行事である「芸球祭（球技大会）」や「芸愛祭（清掃イベント）」なども行います。これらの行事にも積極的に参加してみてください。

学生フォーラム委員会 会長 八朔 將太

クラブ紹介

■ソーラーカー部

Epitome Racing KDU

我々ソーラーカー部は、毎年8月に鈴鹿で開催されるソーラーカーレースへ独自に製作した車両で参加することをメインイベントとしています。また市販の電気自動車（EV）を改造した車両でEVラリー等にも参加しています。デザインから組み上げまで、くるまづくりの全工程を体験できます。貪欲でハンギーな部員を随時募集中です。

今年からはエンジニアとデザイナーの技術交換を目的とし、神戸市立高専ソーラーカー部とともに「エピトムレーシング」というチームを立ち上げました。エピトムレーシングの活躍にご期待ください。



▶今年の大学祭は10月18、19日に開催！▶▶▶▶

今年の芸工祭はテーマを「闘—BATTLE—」とし、10月18,19日に開催します。

今回は全6学科対抗の闘いの場を芸工祭とし、芸工生には作品制作を行う上で、新たな技術や表現方法を発見してもらいたいです。来場者の方には芸工祭のデザインや造形に対する熱い思いを作品から感じてもらいたいです。

今年は「LIVE ART BATTLE」という、制限時間3時間の中で作品を制作するという新企画を行います。その他にも、コンペティション、模擬店、作品展示・販売、ステージ企画、ファッションショーなど様々な企画があります。

大学祭実行委員会は、芸工祭に企画者として参加した方、来場された方、運営に協力していただいた方が楽しいと思える芸工祭を行うため、準備しています。今年は様々な新しい試みを行っています。ぜひ、芸工祭に来てください。

大学祭実行委員会



国際交流だより ~海外大学との交流~

本学では、海外の協定大学との交換留学並びに共同研究等を行っています。

6月には、本年度のウェストミンスター大学（イギリス）への派遣学生（プロダクト2年生）が決定し、9月からイギリスでの生活が始まります。

留学に興味のある方は、本館2階の事業推進課までお越しください。

また、近年海外の大学からの訪問が増加し、今年も8月までに7校の来学があり、国際交流活動が活発に行われています。

11月15日に開催される20周年記念式典には、海外の協定校関係者も来学される予定となっています。

本学の学生交換協定校

・ウェストミンスター大学（イギリス） ・北京理工大学（中国） ・東西大学校（韓国） ・雲林科技大学（台湾） ・台湾芸術大学（台湾）

◎ 神戸芸工大留学生が国際美術工芸協会作品展に出品

本学の外国人留学生後援会団体会員である国際美術工芸協会主催の作品展が7月9日（水）・10日（木）の両日、ホテルオークラ神戸で開催されました。

同協会は本学と同じ平成元年の設立で、今年で20周年を迎えます。同協会からは、美術工芸の創作活動を通じた国際交流の一環として、同じ神戸で芸術を学ぶ留学生への支援として、神戸芸工大に在学する留学生に対して作品展への出品の機会をいただくとともに、優秀作品には奨励金も贈呈していただいている。今年は15名の学生がファインアート（絵）や香立て、アクセサリーなどの作品を出品し、そのうち10名に奨励金が授与されました。



◎ 外国人留学生後援会のご案内

本学の外国人留学生はアジア、南米、中近東、ヨーロッパなど15ヶ国61名が在籍しており、兵庫県内の大学でも出身国・地域の多彩さでは際立っています。

次代を担う世界の若者たちへ物心両面で支援しようと「外国人留学生後援会」が組織されており、支援奨学金の給付、作品展の補助、会員と留学生の交流活動として研修旅行などを実施しています。

同後援会では会員を募っており、本趣旨にご賛同いただける方の入会をお待ちしております。お問い合わせは、外国人留学生後援会事務局（教学課）電話078-794-5025へお尋ねください。



「おかえりなさい」～会社説明会レポート～

2008年4～6月に、8つの会社に本学に来ていただき、説明会を実施していただきました。その中で、アイシン精機・河野樹脂工業・トヨタ紡織の説明会は、先輩が本学に帰ってきてくれて、説明をしていただきました。今回はそのうち、河野樹脂工業の説明会をレポートします。

河野樹脂工業株式会社 田中先輩(OOP・04M)：大田ゼミ出身の先輩です！



本学での説明会

6月27日の河野樹脂工業の説明会には、入社3年目の田中先輩が帰ってきてくれました。河野樹脂工業は主にプラスチック製品を製造している会社で、先輩は機能アップ等の製品開発（デザイン等）を担当しています。説明会では、先輩が入社2年目の夏頃から取り組み約1年かけて商品化された「ミニトリガースプレー」について、ソリッドワークスやオートCADを使い説明してくれました。また、今春のインドネシア工場への出張やドイツのインターパック展（国際見本市）への出張の話もしていただきました。この説明会は、学生にとって大変有意義なものになったようで、「製品の製作行程がよく理解できた」という内容の感想が多くみられました。

そして先日、大阪府茨木市にある河野樹脂工業の本社で先輩に話を聞かせていただきました。そこでは、学生時代のゼミが楽しかったこと（在学中は大田研究室に所属）、働くようになって「報・連・相（報告・連絡・相談）」の大切さがよくわかったことなどを語ってくれました。田中先輩は良い職場で充実した社会人生活をおくっているという印象を受けました。田中先輩、来年も説明会を宜しくお願ひしますね！！！



河野樹脂工業を案内していただきました

▶卒展予告

「カオス2009」を目指して 卒展実施委員会 委員長 森下明彦

神戸芸術工科大学の「華」といえば、何といっても毎年2月に行われる「神戸芸術工科大学卒展」です。

「カオス」という名称で学生さんの4年間の学習の集大成が展覧されます。会場は兵庫県立美術館、「芸術の館」ギャラリー棟。昨年はおよそ4,500名の方に見ていただきました。詳細は未定ですが、展示と映像作品上映は2月13日（金）から15日（日）、選抜研究発表は14日（土）です。

ファッションショーは2月13日（金）の開催となり、場所は以前に利用していたオルビスホール（六甲アイランド）です。美術館と結ぶシャトルバスを走らせます。

そして最終日、これまでにない何か新しい企画を学生の皆さんとともに実施したいと考えています。講演会、シンポジウム、あるいは、全く別の何か？企画提案、大歓迎です（この日は、一昨年から行っている卒業生の組織、KDU-Netの親睦会も予定されています）。出展する4年生はもちろん、下級生の皆さんも先輩たちの晴れ姿を見て刺激を受けてほしく、来年、「2009年の2月13日から15日まで卒展」と、メモ帳に書き込んでおいてください。必見です。



▶社会連携

神戸市とデザイン協定を締結

平成20年4月17日（木）、神戸市と「『デザイン都市・神戸』推進のための連携協力に関する協定書」を締結しました。この協定は、それぞれが持つ人材や知識、情報などの資源を活かして相互に協力することで、神戸の新たな魅力と活力の創造と次代を担う創造的な人材の育成に寄与することを目的としています。

大学と自治体が「デザインと都市」に関する包括協定を締結することは全国でも初の試みです。今後は『デザイン都市・神戸』推進のために、大学を挙げて取り組んでいきます。この協定締結後の取り組みの一つとして、「神戸ルミナリエ」のポスター・デザインを本学が手がけます。乞うご期待ください。



協定締結する矢田神戸市長と齊木学長



◆ HPリニューアル

本学のホームページをリニューアルしました。
今後ともみなさんにとって利用しやすいサイトづくりを心がけて
いきます。まだ、ご覧になっていない方は↓
<http://www.kobe-du.ac.jp/>

◆ 授業アンケートの協力ありがとうございました

前期終了直前に実施した授業アンケートに協力いただきありがとうございました。「アンケートなんて授業の最後に先生に意見を述べても自分には関係ない」と思われる人がいるかもしれません、毎回いただいた意見は、担当教員はもちろん、カリキュラム検討に教員や事務局も読み、授業実施に反映し、みなさんの後輩のために役立つものとなります。

今ある有意なまた面白い授業は、これまで、みなさんの先輩の意見を、教員が工夫し取り入れた結果なんですよ！

後期にもこの授業アンケートを実施する予定です。この趣旨を理解し、今後もぜひ意見を寄せください。なお今回のアンケート結果は、10月頃図書館に設置をしますのでご覧ください。

◆ 図書館からのお知らせ

その1：貸出冊数変更のお知らせ

9月29日（月）貸出分より学部1～3年生と大学院生の貸出冊数が以下のように変更になります。

学部1～3年生 5冊→8冊 大学院生 8冊→10冊

*学部4年生の貸出冊数は従来通り8冊です。また、貸出期間は従来通りです。



その2：配架点検日の途中開館のお知らせ

従来、最終月曜日に行っていた配架点検の日は終日閉館でしたが、10月の配架点検日より閉館時間

を短縮し、開館時間を設けることでサービス向上を図ります。

配架点検日 従来 終日閉館 10月より15:00～19:00まで開館

*但し、3月は終日閉館させていただきます。



その3：展示のお知らせ

現在展示実施中～10月14日（火）「戸田ツトム展 ブックデザインシリーズⅡ」

10月15日（水）～11月24日（月）「オットー・ワーグナー展」

11月26日（水）～1月13日（火）「寺門孝之展 ブックデザインシリーズⅢ」

◆ 国立美術館メンバーズに加入

本年5月より「国立美術館キャンパスメンバーズ」に加入しています。これは保護者等で組織する教育後援会の支援により加入したもので、学生証の提示により、以下の国立美術館の常設展（国立新美術館は除く）を無料で観覧できるほか、企画展を団体観覧料金（「学生」または「一般」）で観覧できますので、ぜひ利用してください。

対象となる美術館

東京国立近代美術館（本館・工芸館、フィルムセンター展示室を含む。以下同じ。）、京都国立近代美術館、国立西洋美術館、国立国際美術館（大阪）及び国立新美術館

各館の改札または券売所で、キャンパスメンバーズ利用の旨を伝え学生証提示の上、入館、または観覧券をご購入ください。

学生証を忘れると特典を受けることができません。ご注意ください。



国立美術館HPより <http://www.artmuseums.go.jp/>

◆ ギャラリー・セレンディップで

山本隆志・多田 騰雲・馬井究 三人展（仮称）開催

大学に縁（ゆかり）のある方に参加いただく、始めてのセレンディップでの展覧会を2009年1月14日～22日の期間に開催します。

山本隆志（仏画）、多田 騰雲（書）、馬井究（まんが）グループ展です。それぞれの分野で名を成した方々の作品が展示されます。

山本隆志氏は本学にご子息が蒐集された映画チラシのコレクションを寄贈された方です（コレクションは図書館で閲覧することができます）。

近代デザイン、現代アートとは異なった脈絡の芸術表現に触れる絶好の機会です、ご期待ください。

◆ 学資負担者の方へ

平成20年度後期の学費納入についてお知らせします。

・納 入 日 後期<第1回>：平成20年10月20日（月）

後期<第2回>：平成21年 1月20日（火）

・納入方法 口座振替（自動引落し）

納入日に残高不足等のため口座振替できない場合は、滞納となりますので必ず前日までにご入金ください。

なお、学費を期日までに納入することが困難な場合は、延納申込期日までに所定様式で願出ることにより、納入期日を1ヶ月間延期することができます。詳細は本館2階の教学課で確認してください。

・延納申込期日 後期<第1回>は10月7日（火）まで

後期<第2回>は 1月7日（水）まで